

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2014-188837(P2014-188837A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-66300(P2013-66300)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 103 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月17日(2014.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

この搬送過程で、処理液皿44Bからアニロックスローラ44Cにより一定量に計量された処理液が付与された塗布ローラ44Aを用紙Pの表面に押圧当接させることで、用紙Pの表面に処理液が塗布される。なお、処理液を塗布する形態はローラ塗布に限定されず、インクジェット方式、ブレードによる塗布など、他の形態を適用することも可能である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

図5に示す態様では、複数のインク供給路214及び複数の循環共通流路228がノズル列間に交互に配置され、かつ、インク供給本流路214AはY方向の一方の端(図5の下側の端)に配置され、循環本流路228AはY方向の他方の端(図5の上側の端)に配置される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0138

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0138】

同一のノズル部281(図10における上側のノズル部)と連通する接続口302と接続口304との距離D1は、隣接するノズル部281(同図における下側のノズル部)と連通する接続口306(2つの接続口のうち接続口302に近い方の接続口)と接続口302との距離(循環共通流路228における流路長)D2未満(D1 < D2)となっている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0144

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0144】

同様に、循環個別流路227は、循環出口227Aと接続される第1流路227B、及び接続口304と接続される第2流路227Cを含んで構成され、第1流路226Bと第2流路227Cとは、直交(交差)している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0177

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0177】

図14に示す態様において、本流626Bの流体抵抗値を $R_{111}$ 、支流626Cの流体抵抗値を $R_{112}$ 、支流626Dの流体抵抗値を $R_{113}$ とし、本流627Bの流体抵抗値を $R_{211}$ 、支流627Cの流体抵抗値を $R_{212}$ 、支流627Dの流体抵抗値を $R_{213}$ とすると、 $R_{111} + (R_{112} \times R_{113}) / (R_{112} + R_{113}) = R_{211} + (R_{212} \times R_{213}) / (R_{212} + R_{213})$ の関係を満たしている。